

REPORT

ツジ胃腸内科医院に、電気自動車がやって来ました!



充電も夜間に行うなど工夫をしています。

ツジ胃腸内科医院では、エコへの取り組みの一環として「日産リーフ」を導入しました。電気自動車は排気ガスが出ないので環境の優しい乗り物。ゼロから満充電にかかる時間はおよそ8時間ですが、電気代はガソリン車に比べると6分の1程度。運転操作もボタンで起動し、車が「おはようございます。今日も安全運転を心がけましょう」と話しかけ、楽しい車です。

今後もLED照明を積極的に使用して、エコに取り組んでいきたいと考えています。

明星苑コスモス ZOOM UP

節分で、邪気払いをしました。



2月3日、春を告げる日本の伝統行事、「節分」の豆まきをしました。豆と言っても、代わりに紙ボール。スタッフの扮する赤鬼、青鬼にみんなで投げて、「邪気」を追い出し、お昼は巻きずしで福を呼び込みました。

ひな祭りで、「元気」の花が咲きました!

3月3日、ひな祭りのクイズでは、「ハイハイ」と大きな声で手が挙がり、会場一杯、元気に花が咲きました。スタッフによる歌謡ショーやお内裏様、お雛様との握手。楽しいひと時を過ごすことができました。



4月、桜見学に行きました!

利用者の皆さんが待ちに待った「花見」です。入所者と通所リハビリテーション(デイケア)の皆さんが、市内の各地へ出かけました。



入所者の皆さんは、「久留米競輪場」で花見をしました。少し肌寒かったのですが、満開の桜を見て、「やさしい気持ちになる」と国分トシ子さん。皆さん、桜色に頬を染めながら、おやつプリンをおいしくいただきました。



通所利用者の皆さんは「えーるピア」へ桜見学に行きました。満開の桜の下で、若い頃の思い出話に盛り上がり、「次はどこね?」の期待で、皆さんの笑顔が輝いていました。

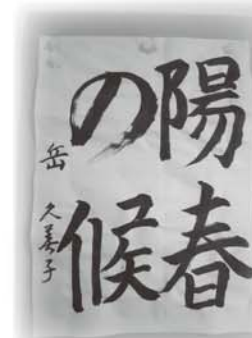
コスモス

介護老人保健施設 明星苑
コスモス

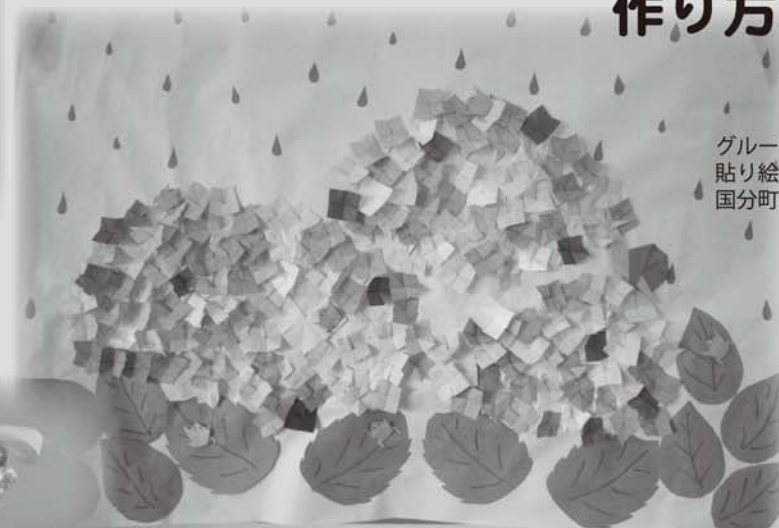
2012 6/1 vol.30

利用者の皆さんの力作です。

わあ、素敵ですね。
作り方、教えて。



明星苑コスモス 通所
岳久美子さん作 お習字



グループホームこすもすII
貼り絵「紫陽花」
国分町の文化祭に出品しています!



ケアハウスコスモス21
田中禮子さん作
ビーズ人形「キティちゃん」
4頁にコメントを掲載しています。



明星苑コスモス2F
丸山リエさん作 紙細工「お手玉」
4頁にコメントを掲載しています。



グループホームこすもす
折紙貼り絵「カーネーション」
母の日を記念してみんなで
制作しました。

利用者の皆さんの作品掲載は、今回で2回です。どれも素晴らしい作品ばかりで、人生の先輩の皆さんに多くを学びます。

ボランティア・タイム

皆さんの笑顔が励みになります!
久留米ひまわりの会

久留米ひまわりの会は、月1回当苑を訪問し、自慢の演芸を披露されています。会員は、歌謡、舞踊、手品などを得意とする25名の皆さん。会長の甲木幸雄さんは、「演芸を通して喜びと、感動を与えたい」と話します。「『陰の母』の歌の最後に忠太郎の歌い手が、お母さん〜、と言うと、忠太郎〜、というセリフが会場の皆さんから返ってきます。メダタシ、メダタシですよ!」同会の見事な演芸に、利用者の皆さんもノリノリなのです。

同会は、特別公演として山本譲二そっくりさんと共に各施設、夏祭りなどに出演され、各地で大活躍です。



*****「表紙の作品」*****

みんなのために作りたい。

丸山リエさん
明星苑コスモス2F

紙細工のお手玉、コマ、それにアクリルタワシ...丸山さんは次々作っては、周りの方々にプレゼントされます。「皆さんが喜んでくれるので、作りがいがあります」と丸山さん。手先が器用で、やさしい方なのです。



ビーズ作り、教えに行きたい!

田中禮子さん
ケアハウスコスモス21

池坊師範として30年教えていた田中さん。干支物から指輪、ミッキーマウス、ピンクパンサーと幅広い作品を作っています。「穴が大きいビーズだから、誰でも作れますよ。時間があれば教えに行きたいですね」この技、伝えてほしいですね。



入所者の皆さんが、「ほっと」するような安心感を与える支援に努めたい。

ケアマネージャー 古賀 富子

施設介護支援専門員として、当苑で働き始めて1年半が過ぎました。障害や病気によって生活をする際に多少の不便や不安があったとしても、「その人なり」に日々を過ごしていくことを支援するのが、ケアプランの意義と思っています。

入所者の方々も、さまざまな顔を持っておられます。好き嫌い、不安、感情、喜怒哀楽、依存...そして、希望。人は

誰でも同じだと思いますが、強い不安や戸惑いの中におかれた時、「自分をよく知ってくれている人」「自分に信頼を寄せてくれる人」が傍に居ることを素直に望まれるはず。これが自分自身の家族であれば、それに越したことはありません。それ以外であったとしても、その人の顔を見ることで「ほっと」する安心感をもつことができるよう入所者の方々の支援に関わっていきたく思います。

コスモス

広報誌「コスモス」 vol.30 2012年6月1日発行

企画・編集 オフィス ケイ

発行●医療法人八十八会 ツジ胃腸科医院

介護老人保健施設 明星苑コスモス 〒839-0863 久留米市国分町991-1 TEL0942-21-0775
●ツジ胃腸内科医院 TEL 21-1582 ●グループホームこすもす TEL 21-0790 ●グループホームこすもすII TEL 21-0836 ●ケアハウスコスモス21 TEL 21-2577

特集 当苑の食事についての取り組みをご紹介します

明星苑コスモスの食事は、おいしいね。そんな声が、あちこちから。

明星苑コスモスの正午。

入所者、通所利用者の皆さんのテーブルに、旬の新鮮な野菜をふんだんに使った食事が出されました。あちこちから「おいしい」という声が聞こえてきます。

毎日の食事は、管理栄養士の宮岡美幸さんが作成する栄養計画書に基づいて、一人ひとりの健康状態や体調に合わせて提供されています。通所利用者の首藤恵美子さんは、「料理が得意な私が太鼓判を押すおいしさ。みんなでワイワイ話しながら食事をするのもいいですね」とにっこり。利用者の皆さんに好評なのは、栄養バランスがとれて、薄味ながらもだしや食材を生かした味つけと飽きのこない豊富なメニュー。入所者の吉原エイ子さんも、「おいしいご飯を食べたら、元気だった頃を思い出します」と嬉しそうです。

皆さんが、さらに楽しみにしているのは、月1回の行事食。節分や雛祭り、ケーキ作りや、クリスマスバイキングといった四季折々の食事です。

宮岡さんは、皆さんの笑顔を見ながらこう話します。

「最初はあまり食が進まなかった方が、たくさん召し上がるようになり、元気になるようになっていきます。その姿を見るのが何よりも嬉しいです。年齢を重ねるとどうしても外出が少なくなりますので、食を通して四季を味わい、生きることの喜びや幸せを感じてもらいたいと思います」



吉原エイ子さん「食事が楽しみ」



首藤恵美子さん「今日もおいしい！」



▲月1回の行事食の日はいつもまして賑やか。「私の家ではこういうお料理を作ったわ」と思い出話に花が咲きます。

◀ 4月はたこ焼きパーティーで盛り上がりました。



SPECIAL TALK 百歳万歳!!

小学生の時、「品行方正、成績優秀」と表彰されました。昔も今も模範生です!

内野 功さん 102才

1909年・明治42年生まれ、明星苑コスモス

内野さんの宝物。それは「資性温良ニシテ學術操行共ニ優良質素…」と続く、一枚の賞状です。邊春尋常高等小学校高等科(現・八女市立花町)の3年生だった大正13年、皇太子裕仁親王(後の昭和天皇)と良子女王(後の香淳皇后)の御成婚記念として、当時の邊春村長から贈られたものだそうです。

頑張り屋で友人からの人望も厚かったという内野さん。「勉強も遊びもなんでも

きた」「先生からいつも褒められていたのよ」と話す顔は、ちよびり得意気です。102歳を迎えた今も元気いっぱい。レクリエーションの時間も先陣を切って参加し、ハキハキと発言してみんなを盛り立てます。

そんな内野さんが大好きな言葉は、「ありがとうございます。」「どんな時も必ず『ありがとう』と笑顔で声を掛けて下さいます。人として尊敬しています」とスタッフも多くを学んでいます。



▲「宝物」を胸に抱く内野さん。次にもう賞状はきつと、「長寿日本一」ですね。

PHOTO SKETCH

青空の下、昼食会をお庭で開きました。まるでカフェテラスみたいで、ルンルン。グループホームこすもす

4月、芝生の庭に、利用者の皆さんが集合。今日の献立は、職員がこしらえたちらし寿司、鮭の塩焼き、ポテトサラダなど美しい彩りのお弁当とお吸い物。ホーム長の棚町澄江さんは、「皆さん、外でのお食事は大好きですよ。風や木々の緑などは五感を刺激しますから。普段、ベンチでもよくお喋りをしています」と話します。庭からは自慢の畑や緑豊かな景色を眺めることができ、まるで心地良いカフェテラス。「おいしか。ありがとう」との声がたくさん聞かれて、お弁当も特別おいしかったようです。



栄養と彩りもきれいに作られたお弁当。ワクワク。

久留米駐屯地で、恒例の「花見会」を催しました ケアハウス コスモス21



「ゆめタウン」へ、みんなで出かけました! 好きな献立を選んで、心ウキウキ。グループホームこすもすII

4月、今日は恒例の「ゆめタウン」での食事会です。「今日は何を食べようか」と心ウキウキの利用者さん。フードコートの飲食店の前で、目を輝かせながら好きな「ちゃんぽんにしよう」と次々に決まっています。ホーム長の永尾澄子さんは、「きれいな店内を一緒に見て歩くのも刺激になります。皆さん、お酒落して素敵ですよ」と、にっこり。

食事を終えたら、テラスから春の花々を眺めてゆっくり。笑顔満開の皆さんでした。楽しかったですね。



「ゆっくり食べましょうね」と、永尾ホーム長。



店内を眺めながらゆっくり歩きます。

4月当日は、素晴らしい天気にも恵まれ絶好の花見会となりました。会場は、近くの陸上自衛隊久留米駐屯地。桜の季節は一般に公開をされる隠れた桜の名所です。入居者の皆さんも思い思いの準備をされ、ゆっくりした時間の中でお弁当、お菓子、飲み物に舌鼓を打っておられました。久しぶりの屋外活動に、心身共リフレッシュされたようです。また行きましょうね。